

販売店様・加工店様へのお願い

この度は、当社製品をお買上頂き誠に有難うございます。
 本体取付の際には、本マニュアルをご一読頂きますようお願い申し上げます。

絵表示	意味
	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	「必ず行なっていたく事」を示しています。

- 注意** ・ホームテリア商品は常に湿気のある場所へのご使用は避けてください。
- 注意** ・直接日光に当たる場所への保管は避けてください。
- 注意** ・施工時、雨がつかからない様にご注意ください。
- お願い** ・取付の際、水平・垂直・ねじれ(対角)にご注意ください。

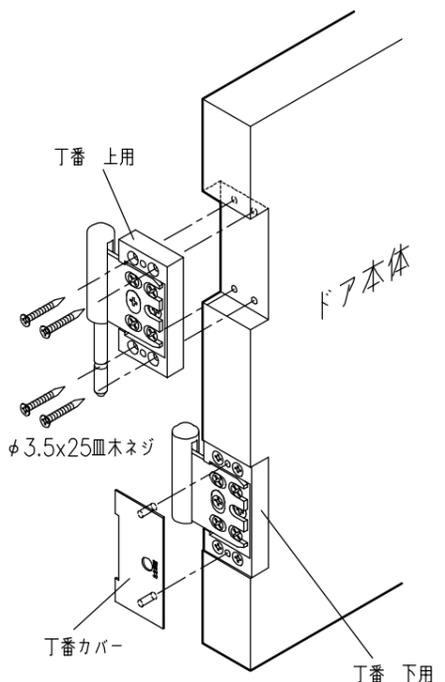
梱包内容

- 枠梱包
- 本体梱包
- ケーシング梱包
- 部品箱

	マニュアル	レバーハンドル	レバーハンドル ビスセット	台座	台座カバー	丁番 上下	丁番 取付けビス (φ3.5x25)
姿 図	空錠						
	表示錠		台座取付けビス φ3.5x16 皿木ネジ X2本 			丁番カバー 丁番上用 丁番カバー 丁番下用 	φ3.5x25 皿木ネジ X8本
シリ ン ダ ー 錠							
数 量	1	各1	1セット	各1	各1	各1	1セット (8本)

丁番の取付け

(本図は右吊り元の例です)



ドア本体に丁番を木ネジで取り付けます。

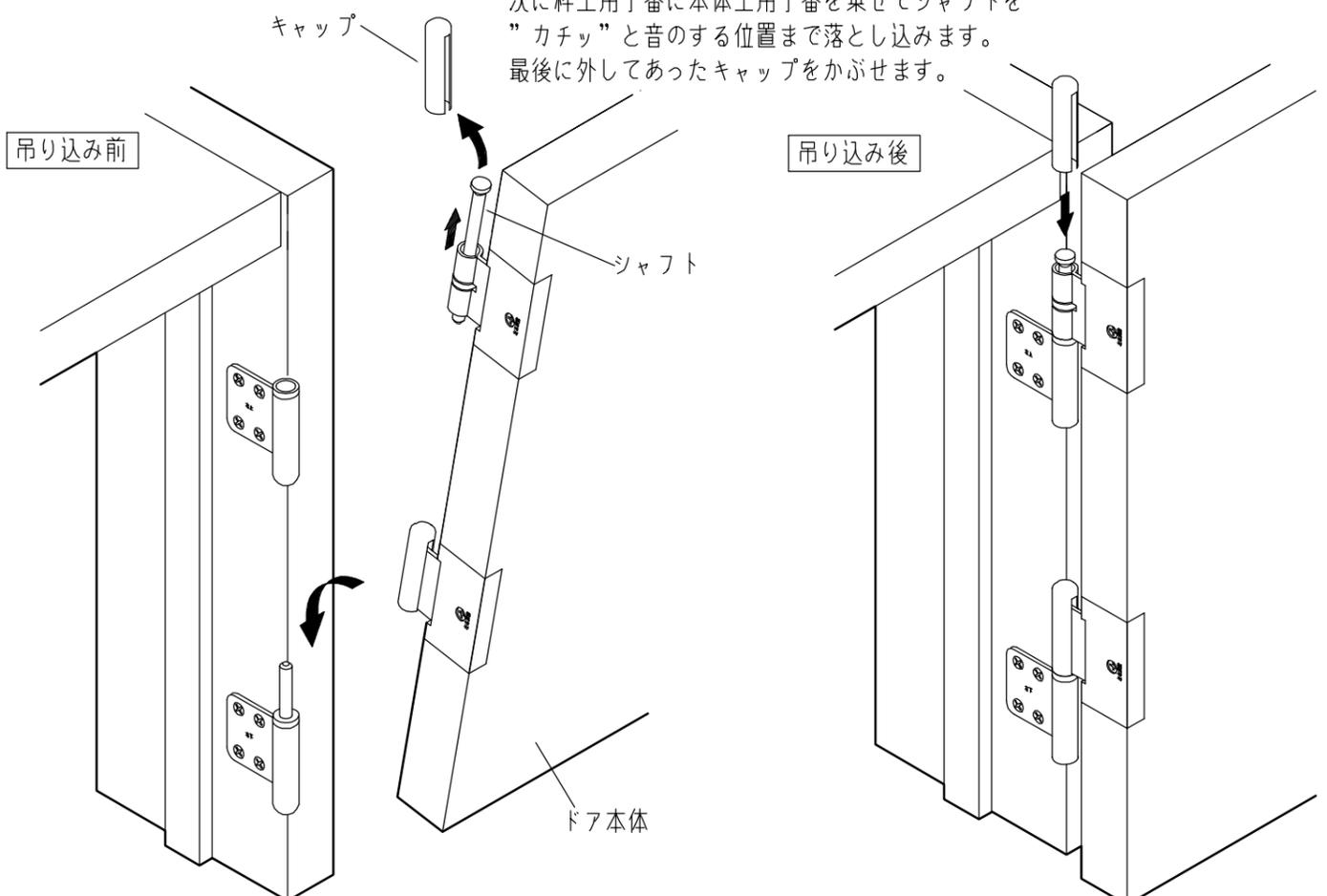
丁番には右用、左用以外に
 上用、下用がありますので
 注意して取り付けてください。

注意 丁番は木ネジでゆるみのないよう
 しっかりと取り付けてください。

丁番の取付けが終わったら、丁番カバーを
 しっかりと嵌め込んでください。

ドア本体の吊り込み

(本図は右吊り元の例です)

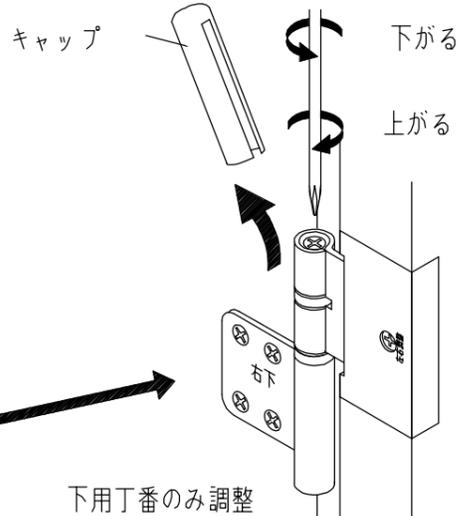
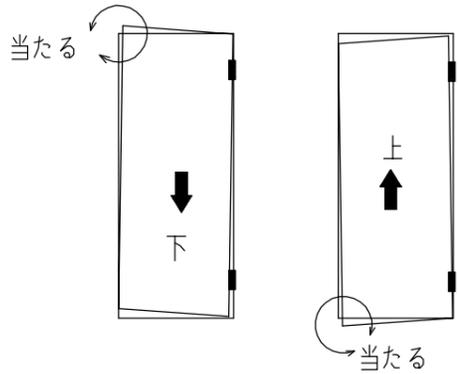


本体上用丁番のキャップを外し、シャフトを引き上げます。
 枠下用丁番のシャフトに本体下用丁番を差込み
 次に枠上用丁番に本体上用丁番を乗せてシャフトを
 ”カチッ”と音のする位置まで落とし込みます。
 最後に外してあったキャップをかぶせます。

丁番の調整

上下調整

(1) ラッチ側の上、下が当たる場合



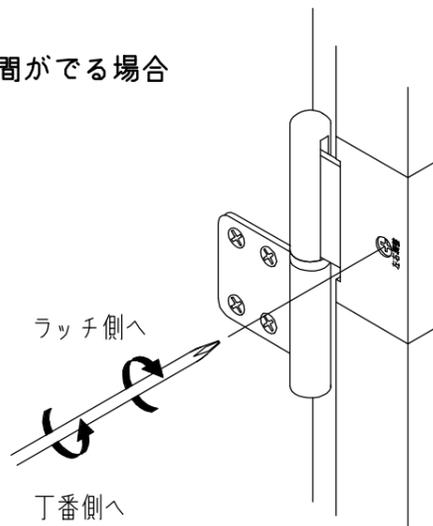
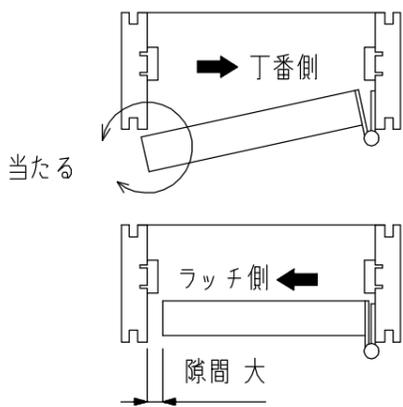
下用丁番のキャップを外し、丁番の管の内部にある調整ネジを回し調整します。

右に回せばドアは上方向へ2mm
左に回せばドアは下方向へ2mm
調整できます。

調整が終わりましたら、キャップをかぶせてください。

左右調整

(2) ラッチ側の縦枠に当たったり、隙間ができる場合

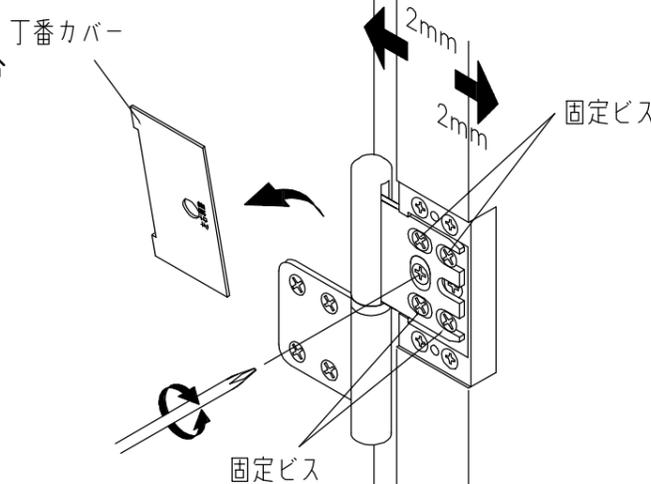
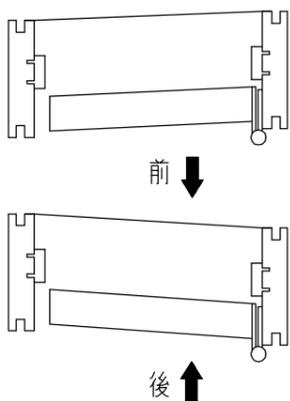


ドア本体側に取付いた中央の左右調整ビスを回し調整します。

右に回せばドアはラッチ方向へ2mm
左に回せばドアは丁番方向へ2mm
調整できます。

前後調整

(3) 左右縦枠がネジれている場合



ドア本体の丁番カバーを外し、4本の固定ビスをゆるめてください。

中央の前後調整ビスを回し調整します。

前後へ2mmずつ調整できます。

注意

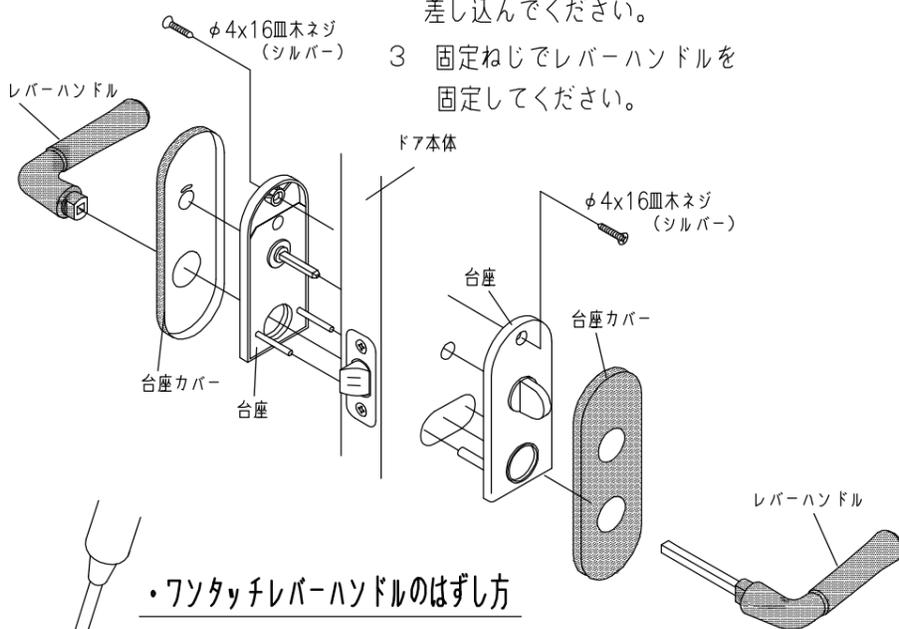
調整が終わりましたら、4本の固定ビスを完全に締め付けてください。

先ほど外したカバーをしっかりとめ込んでください。

錠の固定

・ハンドルの取付 (部品箱)

- 1 台座をセットしてビスで固定してください。
- 2 台座カバーをかぶせてレバーハンドルを差し込んでください。
- 3 固定ねじでレバーハンドルを固定してください。



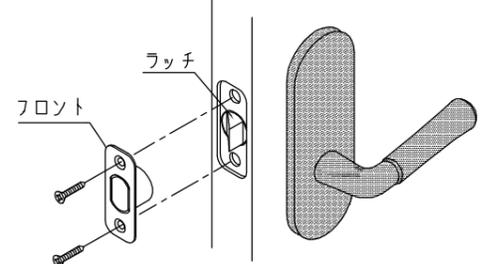
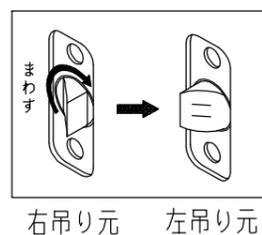
・フソタッチレバーハンドルのはずし方

マイナスドライバーを比ダルの図のように、室内側レバーハンドルの下側の穴に差し込んだ状態で角芯棒付レバーハンドルを抜きとります。

錠のR・Lの設定について

ドア本体にはR/Lがありません。

錠(ラッチ)は工場出荷時に右吊り元の向きに取り付けてありますが左吊り元として使用する場合は図のように、フロントを取り外しラッチの先端を回転させた後、フロントを付け直してください。



錠受の調整

錠受とラッチとの当たりを調整したい時は、錠受の中心にあるビスを回してください。

右に回すと約3.5mm
左に回すと約1.5mm、調整できます

